

令和5年度宇治茶アカデミー 開催要領

1. 趣旨

本アカデミーは、京都府内で茶の生産、流通・販売やスイーツ等茶の加工商品の製造・販売等を行っている若い担い手を対象に、経営力、宇治茶の伝統や価値の発信力を高めるとともに、参加者同士の交流・連携を深め、宇治茶のイノベーションにつなげることを目的としている。京都府茶業会議所と京都府が連携して平成26年度から開催し、今年度10年目を迎えることから、この10年間の総括と、今後の宇治茶のさらなる発展に向けて「10年間で振り返り、宇治茶のこれからを考える」をテーマに開催する。

2. 主催者

主催：京都府 共催：公益社団法人京都府茶業会議所
アカデミー校長 京都府茶業研究所長

総括アドバイザー 堀井長太郎 氏 ((公社) 京都府茶業会議所会頭)

吉田利一 氏 ((公社) 京都府茶業会議所副会頭・京都府茶生産協議会会長)

森下康弘 氏 ((公社) 京都府茶業会議所副会頭・京都府茶協同組合理事長)

3. 対象者

京都府内の意欲ある若手の茶生産・流通業者及び茶加工商品の製造・販売業者

4. 募集人数

30名程度(但し、同一企業からの参加は3名まで) ※過去の受講生も受講可能
第1回は公開セミナーとし、広く参加者を募る。

5. 開催場所・時間

京都府茶業研究所又は宇治茶会館(対面形式) 毎回とも午後1時30分から開始

6. カリキュラム

時期・場所	内容(講演名は仮称)	講師
<p>第1回 令和6年 1月16日(火) 「宇治茶アカデミー10周年記念公開セミナー」 於：宇治茶会館</p>	<p>【講演】 ◇「宇治茶の香りが未来を拓く」</p> <p>◇宇治茶アカデミー10年間で振り返って</p> <p>◇パネルディスカッション 「総括アドバイザーから若き宇治茶の担い手へのメッセージ」 3名の総括アドバイザーから</p>	<p>国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 上級研究員 水上 裕造 氏</p> <p>農林水産技術センター 農林センター茶業研究所長</p> <p>パネラー：堀井アドバイザー 吉田アドバイザー 森下アドバイザー</p> <p>コーディネーター： 宇治茶伝道師 京都先端科学大学 特任教授 藤井 孝夫 氏</p>
<p>第2回 令和6年 1月29日(月) 於：茶業研究所</p>	<p>【講演】 ◇「新しい時代の茶業経営」(仮称)</p> <p>◆グループワーク</p>	<p>合同会社さかもと 代表 坂元 修一郎 氏 (鹿児島県生産者)</p>
<p>第3回 令和6年 2月14日(水) 於：茶業研究所</p>	<p>【講演】 ◇「宇治茶のこれからを考える」 一若手流通業者・小売業者がこれからの宇治茶への想いを語る一</p> <p>◆グループワーク</p>	<p>茶業青年団の茶商工業者 丸山 順裕 氏(八十八良葉舎) 谷口 悟司 氏((有)流芳園) 小尾 典彦 氏(マルヒコ小尾商店) ※対談形式</p>

<p>第4回 令和6年 2月27日(火) 於：茶業研究所</p>	<p>【講演】 ◇「景観を守りながら私たちはこう変わる ～専門家に聞いてみよう 世界遺産登録で 私たちの茶業はどうなるの～」 ◆グループワーク</p>	<p>国立大学法人京都工芸繊維大学 教授 清水 重敦 氏</p>
--	---	--------------------------------------

7. 受講料

無料

8. 申込方法

令和6年1月10日(水)までに茶業研究所ホームページに掲載の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX又は電子メールで茶業研究所あて申込み

申込・問合せ先：京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所

(担当：豊田、馬場、増田、高垣、梅原、小林)

TEL 0774-22-5577、FAX 0774-22-5877、電子メール ngc-chaken@pref.kyoto.lg.jp